

経営比較分析表（平成29年度決算）

青森県 平川市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	11.18	0.15	100.00	3,065

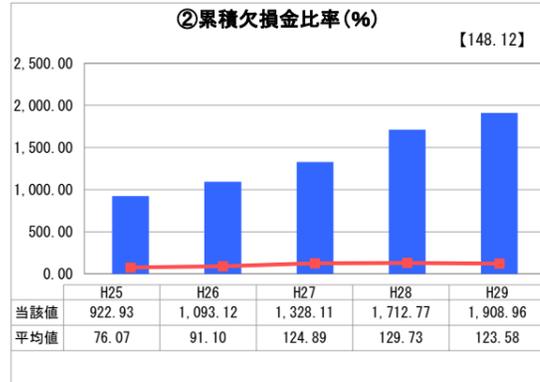
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
31,708	346.01	91.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
46	0.01	4,600.00

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成29年度全国平均

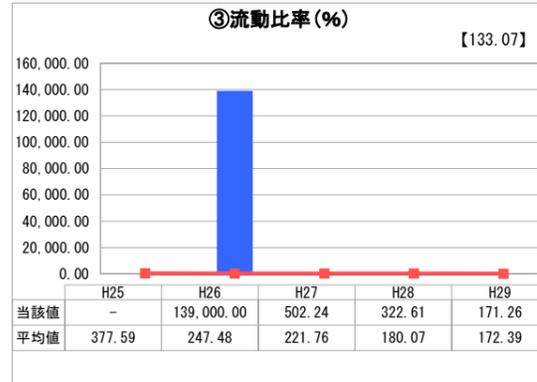
1. 経営の健全性・効率性



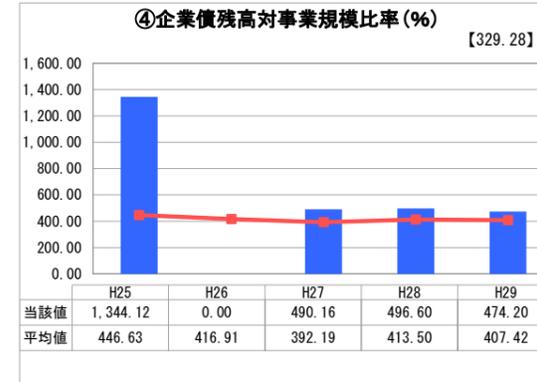
「経常損益」



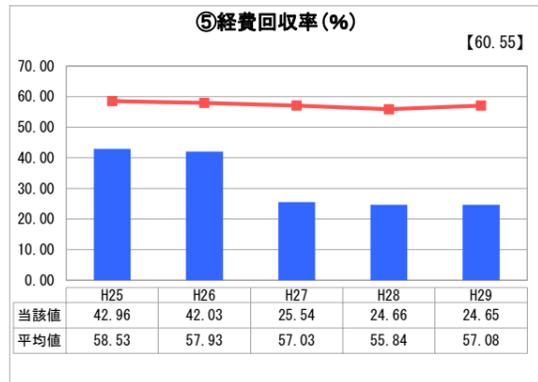
「累積欠損」



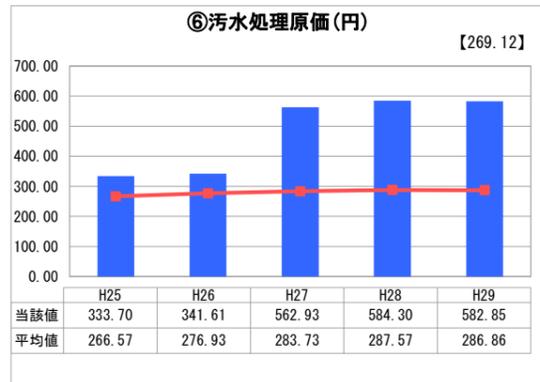
「支払能力」



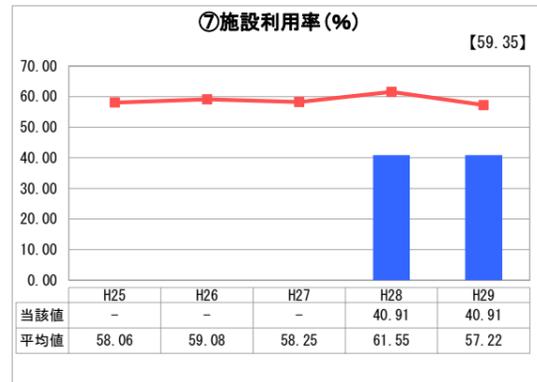
「債務残高」



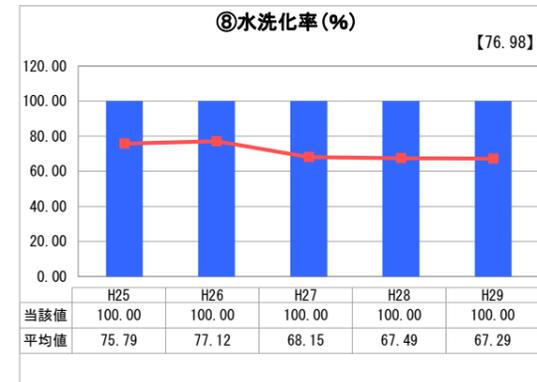
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

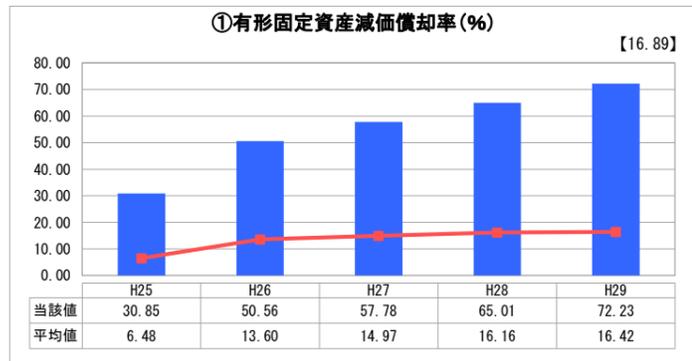


「施設の効率性」

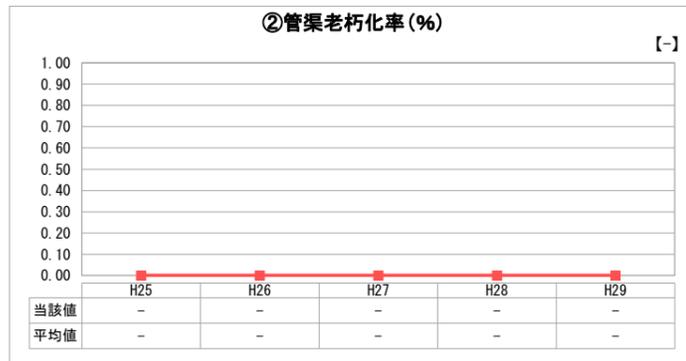


「使用料対象の捕捉」

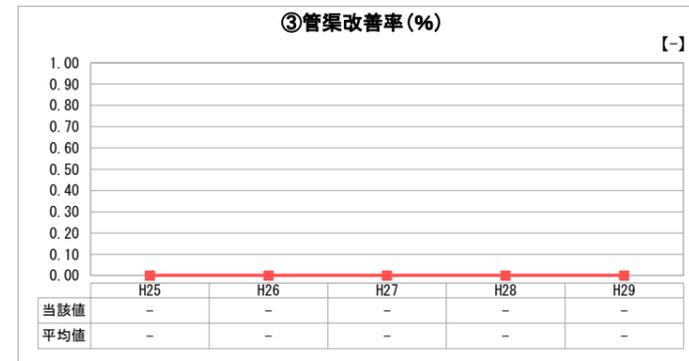
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率について、過去5年間100%を下回っており、累積欠損金比率も年々増加し、類似団体と比較しても高い値となっている。流動比率は、減少傾向にあり、類似団体と同程度となっている。経費回収率については、前年度とほぼ横ばいに推移し、類似団体と比べて50%程度となっている。使用料で賄えておらず、一般会計からの繰入金で賄われている。汚水処理原価も類似団体と比較して2倍以上の高い値を示している。水洗化率については、水質保全の観点では100%であるものの、区域内人口が年々減少しており、今後、料金収入の増加は見込めないことから、汚水処理費の削減に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率について、類似団体と比較すると高い比率になっている。現状では耐用年数を超えておらず、更新等の必要性はないが計画的な点検による早期修繕を行うことで、重大な故障等を未然に防ぐ必要がある。

全体総括

今後も人口減少による使用料の減収は避けられず、厳しい経営状態が続くものと考えられるが、限られた人口の中で料金収入の増加は見込めない。計画的な点検により早期修繕を行うことで長寿命化を図り、突発的な経費増大が発生することのないよう計画的な維持修繕に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。